

令和2年3月9日

福岡小児歯科集談会 総会および講演会のご案内

福岡小児歯科集談会会長 二木 昌人

春の到来を感じさせる今日この頃ですが、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて以下の日程、会場にて令和2年度の総会と講演会を催しますので、ご案内申し上げます。講演会は、お二人の日本小児歯科学会認定歯科衛生士の方にリレー講演をお願いしています。一昨年に続き第2弾となりますので、医院スタッフの方々もお誘いのうえご参加ください。

日時：令和2年4月22日（水）

会場：福岡県歯科医師会館1階 第1・第2会議室

午後7時～7時30分 総会

午後7時30分～9時 講演会

講演会タイトル 輝く歯科衛生士～今の私が伝えたいこと～ パートⅡ

日本小児歯科学会認定歯科衛生士リレー講演

講演会1 歯科治療に不安を持つ患者さんへの支援について ～当院での取り組み～
小倉南歯科医院（北九州市） 歯科衛生士 野中 麻衣 さん

歯科医院は、非日常的な場所で、見慣れない器具や音、臭いなど独特な雰囲気があります。歯科治療経験のない小児は、その場所に来ただけで不安を感じると思います。そして、治療経験のある小児にとっては、怖かった・痛かったと不安を思い出してしまう場所でもあります。さらに、発達障がいのある患者さんの場合は、治療の必要性が理解できないことが多く、また、口腔という、直接目で見えない場所の治療に対して、より不安を強く感じるのではないのでしょうか。

小児歯科の診療室には、定型発達児・発達障がい児を問わず、そのような不安を持つ小児がたくさん来院しますし、歯科治療に対する不安は、ひとりひとり違いがあります。そのため先生をはじめスタッフの方々は、その不安を取り除くために、日頃からさまざまな工夫をされていると思います。当院小児歯科でも、他院で、怖がって治療ができずに転院してきた患者さんが多く、また、全患者さんの3割近くが、発達障がいと診断されているか、または、その疑いがあると思われる患者さんです。そのような患者さんに対して、保護者からの情報も参考にしつつ、何が不安なのかということ、早めに把握し、その不安を軽減するためには、どういう支援が最適なのか、試行錯誤しながら診療を行っています。

今回、歯科治療に不安を持つ患者さんへの支援について、当院での取り組みを具体的にご紹介させていただきます。

講演会2 小児の成長に合わせたリコール～継続させるためのポイント～
小児歯科柏木医院（福岡市） 歯科衛生士 岩男 好恵 さん

当院は、開業当時より予防を中心とした診療を行っています。そのためには、リコールの継続が重要であると考えています。初診時には、必ずオリエンテーションから開始します。内容は、レントゲン・麻酔・抑制・治療の流れ・シーラント・フッ素等、今後必要となる項目について、説明と確認を行います。勿論、リコールの必要性に関してもお話ししますが、最終来院日に再度リコールについて説明し、次回来院日の確認を行います。予防が主訴で来院された方は、リコールを中断する事は少ないのですが、齲蝕治療が主訴の場合は中断率が高い傾向にあります。

そこで、齲蝕治療を中断する理由について調査しました。（H21年九州地方会発表）診療に対して不安（治療中に泣いてしまうことや抑制治療、麻酔を使用する等）があることが、中断要因の一つでした。またリコールを続けていても、自我が芽生え自立を始める第二反抗期になると、リコールが中断しがちになります。この時期の中断理由を調べたところ、“小さい子の横でしたくない”ということでした。

以上のことから、治療の中断を減らしリコール率を高めるために、不安要因を把握できる新たな問診票を作成しました。また、初診時の動機づけとして、齲蝕活動性試験をおこなったり、永久歯完成までの記録を残せるように、12年間使用可能なリコールノートも作成しました。保健指導においては、リコール用カルテの内容を充実させ、継続的に指導できるようにしました。保健指導の際も一方的な指導にならないように、できるだけ保護者の方にはチェアサイドにいて頂き、その会話の中から問題点を引き出し、次回の目標が提案できるように心掛けています。また、限られた時間の中での指導で説明不足にならないように、質問内容が多い事柄を新聞として渡せるように、準備をしています。

以上のように、これまで色々な工夫をしてきました。今回の講演が、明日の診療に役立てば幸いです。

参加費：

個人会員歯科医師	無料
医院会員歯科医師およびスタッフ	無料
個人会員医院のスタッフ	1,000 円
ビジター	2,000 円